

全国の実習教員のみなさんに訴えます

充実した実験・実習教育実現のため教育諸条件の回復・改善は急務 制度改革実現を展望し「署名」のとりくみをすすめましょう

2017年6月14日
全教実習教員部常任委員会

全教実習教員部は「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」を毎年集約し、文部科学省交渉をはじめとする中央行動にとりくんでいます。この署名は「実習助手」制度改革を求めるとともに、すべての子どもたちの学ぶ権利の保障をおこなうために現在の喫緊の課題である教育予算増額や定数配置の改善、施設設備の充実を目的とした「高校無償化の復活・給付制奨学金制度の拡充」を強く要求しています。

90年代よりうけてきた構造改革攻撃により、これらの教育条件は改悪されてきました。「教育再生」を標榜する安倍内閣はこの改悪をさらに推し進めるとともに、教育制度を改悪し「戦争をする国づくり」をいっそうすすめようとしています。

全教は教育改悪攻撃にたいし積極的な運動を展開し、攻撃への防波堤になると共に教育条件改善に向けとりくみをすすめてきました。

私たち実習教員部の署名・中央行動のとりくみによっても、実習教員の定数確保や新規採用の再開など、充実した実験・実習教育をすすめるための成果を結実させてきました。

これまでの前進に確信を持ち、今年も署名集約にとりくむことを訴えるものです。

同時に訴えたいのは、制度改革の展望についてです。

私たち実習教員が追及してきた「実習助手」制度を廃止し教諭に一元化する制度改革は、教育諸条件の整備が一定段階に到達したとき、これを背景として、実験・実習に係わる部分をより改善していくためのものです。さらに、制度改革実現のためには、実験・実習予算が確保され、教諭を含めた教職員定数が保障され、ゆとりある教育条件となる必要があります。

この点からいえば、現在、制度改革の実現を困難にさせているのは、教育諸条件そのものが改悪されている点にあります。制度改革運動が停滞を余儀なくされていることをもって、落胆したり断念したりする必要はありません。

署名の要求項目は、教育改善要求であると同時に、制度改革の条件整備を求めるものでもあります。制度改革実現と、教育諸条件の回復・改善は表裏一体のものであり、たゆみなくとりくみをすすめていくことこそ必要です。

「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」を多数集約し、署名の力を背景に、文部科学省交渉、要請行動などを成功させることは「どの子にもわかりやすい実験・実習教育」を実現させることにつながります。

全国の実習教員のみなさんのご協力をお願いします。